

るから、宣伝になりそうな気がしま
すよね。

山蔦 花びらを入れてみたりしても
いいかもしれないよね。

市長 花を入れるアイデアはいいか
もね。

山蔦 ジェラートを作るにしても、
それを常時食べられるお店があると
いいよね。直売所みたいなものとか。
そういう意味ではやっぱり宿泊する
施設とその管理をする施設、販売す
る施設が一つになっていけばいいで
すよね。

マスターズと市がWINWIN
の関係になれば

山蔦 市長はこれから地元の農産物
を、どのように広めていこうと考え
ていますか。

市長 やっぱり最初は市内で、特に
みらい平の人たちに食べてもらいた
いよね。いきなり東京に持っていか
ばいいというものではなくて、まず
は市内で地元の農産物がおいしいと
知ってもらって、そこから、外に出
していくしかないかなって思います。

山蔦 今までがそうでしたよね。東
京にばかり目が向いていて、とりあ
えず外に知ってもらおうと。それだ
と地元農産物の良さがどんどん薄
まっていってしまう。だから、まず
は地元で密度の濃いまま残さない
とね。やっぱり密度の濃いものに人

集まってきましたから。そこで起きる
化学反応が楽しみです。

市長 そこを目指していききたいです
よね。マスターズのやりたいこと
と、市のやりたいことの方向性は一
緒だと思うんですよ。市も、市外に
向けたPRではなくて、まずは、市
民の皆さんに愛される地元をつくる
ためのプロモーションを展開してい
ます。

東郷 うまく市とマスターズがタイ
アップして、お互いWINWINに
なるような関係になれば、より
しっかりとした団体になると思うん
ですけど。

市長 今日は実際に会って話をでき
たので、非常に良かったです。マス
ターズの皆さんにも、農業というこ
とで、一緒にシティプロモーション
に加わっていただいて、マスターズ
のことをPRしながら、結果として
それが市のPRにつながっていけれ
ばいいなと思っています。本当にあ
りがとうございました。

■終

-Other Members-

対談に参加していただいた方以外の
マスターズの皆さんをご紹介します。



あきた まさゆき
秋田 昌幸さん

・シクラメン、ガーベラ

「子どものころから花に
親しめる環境づくりを提
案していきたいですね」



すずき まさる
鈴木 優さん

・米、麦、大豆

「口に入るものなので、安
心安全な農作物づくりを
こころがけています」



あおき りゅういち
青木 竜一さん

・ダイコン、トウモロコシ

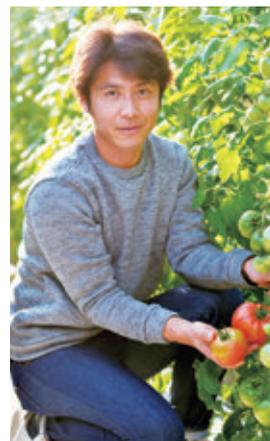
「もっといいものをつく
りたいという思いでこれ
からもやっています」



こすげ けん
小菅 健さん

・トマト

「対面販売で地元のお客さ
んを大切に、おいしいト
マトを研究していきます」



しぶや とおる
渋谷 透さん

・トマト

「お客さんに喜んでもらえ
るものを、これからも作っ
ていきたいですね」